日本商工会議所
The Japan Chamber of Commerce and Industry

業種別の動向

前月と比べたDI値の動き　改善　ほぼ横ばい　悪化

建設業

各種コストの高止まりや人手不足の影響は継続しているものの、一部地域や特定業種における堅調な受注がけん引し、改善。一部事業者からは、金利上昇に伴う住宅・設備投資需要の減退を懸念する声が聞かれている。

- 「札幌や千歳をはじめとする道央圏における受注が好調に推移している。１件当たりの受注規模が大きく、３年先まで案件が埋まっている状況。一方で、深刻な技術者不足を背景に供給能力が追い付かず、新規案件の受注を断っている」（一般工事業）
- 「地元需要が低迷する中、首都圏で堅調に受注を獲得。滞在費等の適正な価格転嫁により利益率向上を図っていきたい」（土木工事業）

製造業

AI・半導体関連の引き合いは堅調に推移しているものの、一般消費者向け製品を中心に、物価高を背景とした節約志向の高まりに伴う需要減退が減産を招き、悪化。

- 「得意先側での大幅な値上げに伴って買い控えが生じた結果、当社の生産数量が大幅に減少している」（食料品製造業）
- 「消費者の生活防衛意識が一段と高まる中、当社が扱う高級靴などの嗜好性の強い製品は買い控えの影響を受けている。現在、業界全体としても過去にない規模で需要が減退しており、経営環境は深刻度を増している」（ゴム製品製造業）

卸売業

仕入価格の高騰が続く中、物価高による節約志向の高まりで需要が冷え込んでいる。また、価格転嫁の遅れに伴う利益率の低下も重なって、悪化。

- 「金属素材の価格が上昇した結果、ガラスや陶器、木、プラスチックといった安価な素材を使用した代替品への需要流出が進んでいる。単なる値上げで終わらせず、消費者に高くても買いたいと思わせる魅力を持った商品をつくる必要がある」（非鉄金属製品卸売業）
- 「大企業との所得格差による人手不足や後継者不在により、廃業する老舗小売店が相次いでいる。当社も創業100年超の歴史に幕を閉じる」（飲食料品卸売業）

小売業

気温低下や天候回復に伴う行楽需要の拡大やイベント展開により百貨店や大型スーパーが好調に推移した一方、商店街や地元小売店においては、消費者の選別志向の強まりから客数が伸び悩み、ほぼ横ばい。

- 「量販店等の販売価格には地元小売店が絶対に対抗できず、深刻な客離れから廃業が散見されており、地域住民の買い物難民化を招いている」（酒類小売業）
- 「インバウンドの来店客数は、中国からの減少を韓国の伸長が補う形で、全体として前年並みの水準を維持している。また、各種イベント展開による集客効果が高く、着実な新規顧客の獲得につながっている。先行きも、食品関連の催事を予定しており、来店客数は好調に推移する見込み」（百貨店）

サービス業

人手不足やコスト高の影響は依然として継続しているが、気温低下や天候回復に伴う行楽需要の拡大が飲食店の客数増や旅館の高稼働につながり、改善。

- 「猛暑が和らぎ秋の好シーズンに突入したことで、季節食材を盛り込んだ会席料理の予約が順調に推移している。今後も季節感を取り入れたイベント企画を継続し、さらなる集客を図る方針である」（飲食店）
- 「順調な稼働状況を背景に、導入済みのダイナミックプライシングが有効に機能し、販売単価が高水準で推移している」（旅館）